

記入例

(様式1) 講習会受講実績及び業務内容等の確認

指定申請書と同様の押印
法人：代表者印
個人：申請者印

指定給水装置工事事業者 指定更新時確認事項 記入様式

氏名又は名称 **J W W A 設備** 印
郵便番号、住所 〒000-1234 □□市更新町 123 番地
代表者氏名 日水 協太郎
電話番号 000-123-4567

①提出先の水道事業者（水道事業者等の連携による広域開催も含む）が実施している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績（過去5年以内）

受講年月日（受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。）（公表： 可 不可 ）
H30年 1月 23日 ・ 未受講
（未受講の場合、その理由） ※非公表

②指定給水装置工事事業者の業務内容

休業日、営業時間（修繕対応時間もご記入ください。）（公表： 可 不可）
休業日： 日曜日、正月3日がGWに連休 営業日： 月～土 修繕対応時間： 8時～17時 17時以降は要相談
漏水等修繕対応の可否（公表： 可 不可） （該当部に○をつけてください。詳細な内容を記入することも可能です。）
屋内給水装置の修繕 埋設部の修繕 (その他) 夜間、休日等の対応について記入。 その他 ()
対応工事種別 (新設 ・ 改造等) (公表： 可 不可)
配水管からの分岐 ～ 水道メーター (新設 改造) 水道メーター ～ 宅内給水装置 (新設 改造)
その他 (公表： 可 不可)
緊急時連絡先 0×0-××××-○○○○ (代表者携帯)

※ 公表には、ホームページ等への掲載を含みます。

※ 業務内容に変更が生じた場合は、速やかに指定した水道事業者にその旨を届け出るようお願いします。

記入例

(様式例3) 適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況等の確認

④過去1年以内の給水工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

- 2 配水管から分岐の工事を施行する場合は、配水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせないように適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。

「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しないため不要

過去1年以内の工事実績がない場合は、直近の状況を記載してください。

技能を有する者の 氏名 (公表対象外)	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか(○×を記入)	資格等有しているか(○×を記入)		工事 年度
		保有している資格等		
日水 協太郎	○	○	講習会修了者	H30
日水 協次郎	○	○	検定会合格者	H30
社員A	○	×		H30
「適正に作業を行うことのできる技能を有する者の従事状況」の公表の可・不可を選択。				
上記内容の公表の可否(公表には、ホームページ等への掲載を含みます。)				
<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可				

※以下に示す保有資格等(下線部)を記載してください。

- ① 水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた配管工(配管技能者、その他類似の名称のものを含む)
- ② 職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)第44条に規定する配管技能士
- ③ 職業能力開発促進法第24条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ④ 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者(配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定)

資格を証明する書類(資格証等)の写しを添付してください。

「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しない場合は、任意の記載となります。

技能を有する者の氏名は、公表対象ではありません。

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。